

公益社団法人 地盤工学会
平成23年度 第6回技術普及委員会
議事録

日時	平成24年2月13日(月)14:00~17:00					会場	地盤工学会3階中会議室	
委員長	村田 芳信	○	幹事	秦 樹一郎	○	幹事	渡邊 康司	○
委員	王 林	○	委員	栃尾 健	○	委員	長屋 淳一	○
委員	野末 康博	×	委員	山川 優樹	×	委員	山中 捻	×
委員	林 豪人	○	委員	辻村 崇	×	委員	舟橋 景介	○
委員	喜多川 俊介	×	委員	松本 幸久	×	事務局	廣松 さおり	○
○:出席 ×:欠席								

報告・確認事項

1. 議事録担当者 (資料-1)
林委員が指名された。
2. 前回(12/19)議事録の確認 (資料-2)
前回議事録(喜多川委員担当)が承認された。
3. 第5回事業部会(12/20)議事録案 (資料-3)
第5回事業部会の議事録について確認した。
4. 第9回理事会(12/22)および第10回理事会(1/27)議事録案 (資料-4)
第9回理事会および第10回理事会の議事録について確認した。
5. オンデマンド講習会WG(2/13)報告 (資料-5)
渡邊幹事(オンデマンドWG長)より、オンデマンド講習会WGについて報告があった。
 - ・2/1にKITと打合せをし、今年度で共同推進契約を解除することで合意した。
 - ・既に収録したコンテンツに関しては、契約上今後1年間に限って配信は可能。
 - ・今年度は『地山補強土工法』講習会で収録予定。収録業者は名古屋の業者。ただし3/8時点で受講予定者数が25名を下回る場合は、収録は行わない。収録しない場合は講師に連絡する。
 - ・新規の収録分の取扱に関しては、オンラインデータ配信に頼らない形式で検討を進める。
 - ・次年度の収録予定の講習会は以下の通り。
『地盤工学入門』講習会、『土の強さと地盤の破壊入門』講習会、『技術の伝承』講習会
 - ・以下の講習会は収録予定であるが、オンデマンドで収録したコンテンツを講習会に用いるかどうかを各支部に確認する。
『グラウンドアンカー設計・施工例』講習会、『地盤調査の方法と解説』講習会
 - ・収録したコンテンツのDVD貸出などの枠組みを今後検討していく。
6. コース制進捗状況 (資料-6)
コース制の運用に関して検討を行った。
 - ・教育給付金制度が活用可能か、秦幹事が関係者に確認をする。
 - ・個々の講習会のコース分類の範囲を、現行より広げることを検討する。
7. 図書出版作業進捗状況 (別添資料-1)
事務局より、図書出版作業の進捗状況について報告があった。
 - ・『実務シリーズ29 土の締りめ』、『入門シリーズ38 地盤工学における性能設計入門』は今年度内の予定。
 - ・『実務シリーズ30 シールド工法』は、講習会当日までに間に合う見込み。
 - ・『地盤に関する解析技術(個別要素法)講習会』で配布したテキストが、同様の内容で出版される予定。
8. 平成23年度講習会収支報告・アンケート結果(平成23年12月開催) (資料-7、別添資料-2)
各担当委員および事務局より、講習会の開催結果が報告された。
 - (1)『地盤に関する解析技術(個別要素法)』講習会(担当:渡邊幹事)
 - ・今年からディスカッションタイムを設けた結果、有意義な内容になったと考えられる。
 - ・来年度は地盤工学会のテキストができる。土木学会共催でなくなる可能性があるが、料金は急に上げないよう

にする。

(2)『近接施工』講習会(担当:山川委員)

- ・出版から1年以上経過しての開催のためか、参加人数が伸び悩んだ面があった。
- ・講師の人数が多いため、スケジュール管理が大変だった。
- ・次回は早い段階での開催が望ましい。

(3)『特殊土の基本的性質』講習会(担当:松本委員)

- ・講習会の満足度は高い。
- ・遠方からの講師が多かったため、経費が高くなった。
- ・来年度は、北海道からの講師を2名から1名にすることを願ひし、遠方から来られる講師には、早割などで航空機チケットを購入してもらうようお願いする。

9. 関東支部「地盤リスクマネジメント事例研究(案)」の活動成果の普及について (資料-8)

事務局より、上記の活動成果の普及についての説明があった。

- ・事業部で検討してもらう。

審議事項

1. 平成23年度講習会開催について

(資料-9、別添資料-3)

(1)会告案

- ・『土を固める原理と応用』講習会は3月9日開催。セメント新聞およびセメント協会誌に案内を掲載済み。
- ・『地山補強土工法』講習会は、日経コンストラクションに掲載可能かヒアリングする。単独の案内メールを、「被災自治体にテキストを寄贈している」こと、「災害復興に役立つ工法である」ことをアピールした文面で配信する。文面案は王委員が作成する。

(2)一覧表

- ・『地盤の地震応答解析入門』講習会(2/14)は人気があるものの、一人の講師のみで実施していることに対して如何なものかという意見がある。講習会の結果を見て、次回委員会でこのことについて議論する。
- ・『災害廃棄物と放射性物質汚染土壌の処理・処分』講演会は、会場の定員200名、募集100名のところ応募が144名である。

2. 平成24年度講習会事業計画書

(別添資料-4)

- ・『地盤の連続体力学』講習会(担当:長屋委員)の開催は、夏休みの8月を予定する。
- ・『東日本大震災(提言)』講習会は王委員が担当。4月のシンポジウムをリニューアルした形式。
- ・『地盤災害の復旧事例』講習会(担当:栃尾委員)は、タイトルを変更する予定。
- ・『はじめて学ぶ土壌・地下水汚染』講習会(担当:喜多川委員)は、H23年度の評価をチェックし実施するか判断する。
- ・『やさしい補強土』講習会(担当:舟橋委員)はH23年度で終了。
- ・『実務者のための土と基礎の設計計算演習』講習会(担当:秦幹事)のテキストは、古い設計基準に基づいているため、時代遅れの面がある。
- ・『建設環境に関する技術-技術士受験のポイント』講習会(担当:村田委員長)は講師に打診中。
- ・『模型実験入門』講習会(担当:林委員)は、7~8月に開催する。
- ・『わかって使うレーザー計測』講習会は長屋委員が担当する。
- ・『グラウンドアンカー設計・施工基準、同解説』講習会は栃尾委員が担当する。
- ・『海外工事と国際協力』講習会(担当:林委員)は、開催時期と内容構成を検討して整理する。
- ・『宅地地盤の耐震技術』講習会は山中委員が担当する。
- ・『地盤調査の方法と解説』講習会は山中委員が担当する。
- ・震災に関する研究委員会の成果を講習会として利用できるか打診する。
- ・各担当者は現在の講習会のコース分類を見直す。
- ・表の「分類」欄は分りにくいので削除する。

次回委員会開催日 平成24年3月29日(木) PM13:00~17:00 於:地盤工学会 3階中会議室

以上